

「ぼうはんも家族でワンチーム」

栗原市立鶯沢小学校3年

小野 梨華さん

今、世の中では、新がたコロナウイルスのニュースでいっぱいです。そんなニュースの中にまた、さぎの話がでてきました。

「全員に十万円ふりこむので、つうちょうの番号を教えてください。」

(まただ。みんなコロナウイルスで不安なのに、お金を取られたら、もっとこまってしまう。)

私の家では、こんなニュースを聞くたびにみんなで話をします。

「家の電話でだまされる人多いよね。」

「でも、こんな電話きたら、だまされるかもしれないよ。」

そんな時、お父さんは、かならず

「へんな話だと思ったら、家族で話し合うこと。」

と、話してくれます。このやくそくが、わたしのあん心につながっています。

そして、いつも二つのことを話されます。知らない人について行ったり、車にのったりしないこと、家の人に行き先をつたえずかってに出かけないことです。大人や子どもかんけいなく、家族の中でやくそくされていることなのです。

わたしの家は、この間、新しくなりました。

「ピンポーン。」

とインターホンがなった時、かならずだれが来たかをたしかめてからげんかんに出ることと教えられました。そして、犬のラルも強い味方です。

「ワン、ワン。」

とラルがほえたら、必ず家の外を見るのです。知らない人だったら、決してげんかんには出ません。

電話の見方も教えられました。電話でだまされているニュースもよく見ます。

「また、電話でだまされたねえ。」

「ほんとうだ。」

と、おじいちゃんが話しています。そして、

「梨華も知らない番号の時は、出ちゃいけないよ。」

と、話してくれます。

「でも、本当に用事があるかもしれないよ。」

と言うと、

「だいじょうぶ。本当に用事があって、家の電話が通じない時は、けいたいにかけてくるから。」

(なるほど、そうか。)

このような家族の話合いがあります。

おじいちゃんも外にいる時、家の電話にはかけません。けいたいにかけてよこすのです。

(なるほど、おじいちゃんも家族がだまされないように気をつけているんだ。)

このように、家族で話合いながら、みんなで気をつけながら、あぶないめに合わないようになっているのです。

ぼうはんも家族でワンチームです。